

市が推進する「洋上風力発電」について今号からシリーズでお伝えしていきます。

今回は、市報 2 月 1 日号で特集した岩船沖洋上風力発電のその後の経過についてお知らせします。

2月5日 岩船沖洋上風力発電事業者が決定

決定した事業者と、想定する事業概要は次のとおりです。

○発電事業者 日立造船株式会社を代表会社とする10社のコンソーシアム

(1. 日立造船株式会社 2. 株式会社日立製作所 3. 住友電気工業株式会社 4. 日立キャピタル株式会社 5. 三菱商事株式会社 6. 株式会社ウェンティ・ジャパン 7. 株式会社三菱東京UFJ銀行 8. 株式会社第四銀行 9. 東亜建設工業株式会社 10. 株式会社本間組)

○発電総出力 22万キロワット(5メガワット×44基)

○工事の期間 平成33年から37年まで

○運転開始 平成37年

○概算事業費 1,430億円



4月21日 村上市岩船沖洋上風力発電推進委員会を開催

今年度第1回目の委員会を開催し、今後の事業のスケジュールや課題の協議調整などを話し合いました。

6月30日 市民講演会「地球温暖化と洋上風力発電を考える」を開催

教育情報センターで、気象キャスターの岩谷忠雄氏、東京大学教授の荒川忠一氏を講師にお招きし、地球温暖化と洋上風力発電に関する市民講演会を開催しました。

岩谷氏からは地球温暖化の現状と対策の必要性についての講演を、荒川氏からは洋上風力発電についての知識や将来の展望について講演をしていただき、およそ200人が熱心に耳を傾けていました。

また、当日は、地球温暖化や洋上風力発電に関するパネルや洋上風力発電の模型を展示し、たくさんの来場者にご覧いただきました。



今後は、11月に2回目の推進委員会を開催する予定です。

※詳しくは、市ホームページ > 環境課 > 新エネルギー推進室をご覧ください

●問い合わせ 村上市岩船沖洋上風力発電推進委員会事務局
環境課新エネルギー推進室 ☎53-2111 (内線275)